

特定非営利活動法人 東京YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 会報

見守り、支え、伝えあう



発行所 NPO法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行人：石井須美子

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号

東京YWCA会館216号室 TEL・FAX 03-6273-7134

E-Mail: info@ywca-hssc.jp ホームページ: <http://ywca-hssc.jp/>

私達は、福祉・介護の
仕事のゆたかさを
広める活動を推進します。

Contents (目次)

- P, 1 **MAIN TOPICS** 2014年度総会報告 ～今後の体制づくりが問われる～
- P, 2 3 2013年度事業報告、2014年度の取り組み、新メンバー紹介
- P, 4 5 講師派遣研修施設 千歳敬心苑訪問・インタビュー♪
- P, 6 会員交流ひろば 「Salon de YY」(サロンドわいわい)
- P, 7 東京都福祉サービス第三者評価1年を終えて 評価者1年目の方々の声
- P, 8 Information

MAIN TOPICS 2014年度総会報告

総会を終えて ～今後の体制づくりが問われる～

代表理事 遠藤 久江

2014年度の総会を開催いたしました。出席は20名でした。「石の上にも3年」と思ってこれまで歩んできましたが、石の上から転げ落ちることもなく歩き続けております。これも、それも「東京YWCA専門学校」を愛し、力を合わせて支えてくださっている皆様のおかげと思っています。

これからの歩みをどのようなものとしていくかは大きな課題です。総会においても理事の者、事務局を担っている者、それぞれの思いも語られました。一番の課題はこの組織をどのような方向で維持していくかということです。この組織は「東京YWCA専門学校」の卒業生が頼る場所として何らかの組織が必要と考えて立ち上げました。しかし、組織が一度できてしまうと、それを維持するためには人も場所も必要ですし、お金も必要です。そのために事業活動をして組織を維持しなければなりません。はじめの時期は事業活動も手さぐりをしながらの状況ですから、いつの間にか一番知っている者達にすべてがかかってしまいます。この状況では仕事は未整理で、綱渡りのような状況で毎日が過ぎてゆく感じになります。この状態がこれまでの状況でした。これまで続けることができたのはこのような混沌とした状況にありながらも事務局を担ってくださった方々のお蔭です。

今後私たちのNPOが卒業生も多く活躍している福祉現場を事業活動の拠点として生き続けていこうとすると、これまでの組織の揺籃期は過ぎて、自立できる組織にならなくてはならないかわかりません。その体制づくりを今年度からやってゆく覚悟が問われた総会でした。このように顕在化してきた組織の方向性を今後、社会福祉現場のニーズの検証、事業継続能力の評価、事務局体制の管理等の点から検討しなければなりません。これまで様々な形で支えてくださった皆様、志を同じくする皆様、見えない糸で繋がりながら送られてくるエー

ル等を大切にしながら歩んでまいります。一層のご支援をお願いいたします。

2013年度事業報告と2014年度の取り組み

<1. 講師派遣研修>

2013年度は、新規の事業所の継続研修が、2事業所、社協の新規単発研修が4件、その他、単発の研修を行った法人から、継続研修の依頼がありました。社協の研修依頼が増えた背景として、介護保険制度の改定につれて保険制度外での働きが期待されている地域の有償ボランティアスタッフの養成研修の要請が高まっていることが考えられます。また、継続研修が増えているのは、研修の効果が、職場に反映されてきている証拠ではないかと考えています。我々の強みといえる研修の特徴は、研修参加者が課題を持ち、所属部署においてスーパービジョンを受けながら、スタッフの協力を得て課題に計画的に取り組み、その結果を報告書としてまとめていくというプロセスの中にあります。このプロセスを通して、研修の成果を職場に反映させ、職員の意識を変えていく力を持つことが実証され、指導者をスーパーバイザーとして育てる上でも重要な役割を担っていると取り組んでいる職員はもとより、その事業所担当者からも好評を得ています。

2014年度、研修の成果をよりいっそう職場に反映するためには、職員を支援する体制づくりが重要と考えています。各事業所のスーパーバイザーとの打ち合わせや、事業形態の違う各部署の状況を理解しながら、研修の成果が発揮されるように環境を整えていく為に、コーディネートをおこなっていきます。

今年度研修5年目となる法人の研修では、初年度の高齢者施設への派遣研修から、年を経て複数の事業所からの参加者が増加し、法人全体の研修となっています。そのため、相互の連携が良くなっている等の効果も見られ、中堅、新人職員研修において、研修の成果を報告会で確認することで、研修参加者の自信となり、モチベーション向上につながっています。一方、事業所独自の課題が浮き彫りになり、その改善に向けての取り組みも進めています。

<2. 東京都福祉サービス第三者評価事業>

2012年度の育成研修を終えた評価者4人が、2013年度初めての第三者評価活動に参加し、今後の活躍が期待されています。また、2013年度の評価者育成研修を終了した評価者の育成にも力を入れていきたいと考えています。

2013年度評価活動は、4法人10事業所の評価を行いました。前年度の3法人7事業所から評価件数が増加し、事業活動収入全体の36%を占めるまでになりました。しかし、評価スケジュール管理などの課題が見えてきました。2014年度は、利用者調査・調査報告書作成等計画的な取り組みを進めていきたいと考えています。具体的な強化策としては①事業所訪問調査に至るまでの着実な準備 ②訪問調査における聞き取りのポイントと的確な質問 ③報告書作成について等、評価機関としてのレベルアップ ④評価者育成として、取り組みを進めていきます。

評価事業の事務局は、2013年度後半より担当者が替わりましたが、より良い評価活動のために引継ぎをスムーズに行い、事務局としての体制を固めていきます。

<3. その他の事業>

① 介護福祉士実習指導者講習会

受講者の減少に伴い、これまで年2回実施していた講習会の開催を1回にして取り組みました。受講者の確保のため、以前介護実習指導者講習会に参加した事業所の研修担当者にFAXを送る、電話を掛けるなど、個別にPRを行った結果、25名の受講者につながりました。また2013年度から浦和大学短期大学部の平澤先生に講義を担当していただき、新カリキュラムに即した実習指導、学生の現状に合った内容となるよう努めています。

研修が年1回のために、講師の急病や天候の急変、交通機関のマヒ等によるリスクへの的確な対応が課題となりました。2014年度はリスク対応への十分な対策、準備を行い、介護福祉士実習指導者講習会を通して、介護福祉士育成を担う福祉現場の指導者を育てる役割を十分果たせるよう頑張っています。

②愛恵福祉支援財団主催 2回の国内研修旅行の企画・実施・報告書作成までを寺内が担当しました。

7月の研修は、小規模多機能型ホーム・認知症小規模デイサービスグループホーム等の訪問を行い、22名参加がありました。10月の研修では、小規模多機能型居宅介護等の訪問を行い、17名の参加者がありました。

報告書のまとめには、「参加者のアンケート結果から研修に対する満足度が高く、準備などに関することもさることながら、何より見学先の講師の力量により満足度は左右される。そのためには、研修毎に「テーマ設定をどうするか」、研修テーマの共有が重要である。また、普段からの情報収集が欠かせない。」とありました。

2013年度事業実績と2014年度事業予定(7月契約済み)

	事業内容	内 訳	2013年度実績	2014年度計画(契約済)
講師派遣研修	継続研修	法人研修	1箇所	3箇所(2箇所)
		高齢者施設	4箇所	5箇所(4箇所)
		障がい者施設	1箇所	1箇所(1箇所)
		社会福祉協議会	1箇所	1箇所(1箇所)
	単発研修	高齢者施設	6箇所	6箇所(5箇所)
		障がい者施設	1箇所	1箇所(1箇所)
		社会福祉協議会	5箇所	5箇所(2箇所)
YWCA関連		0	1箇所(1箇所)	
講座講習	介護実習指導者講習会	1,2月実施	受講者25名	定員30名
第三者評価事業	標準調査	特別養護老人ホーム	2箇所	現在申込み受付中 特養2箇所 短期入所2箇所 通所介護施設2箇所 グループホーム1箇所
		短期入所施設	1箇所	
		通所介護施設	2箇所	
		グループホーム	1箇所	
	利用者調査	特別養護老人ホーム	2箇所	
		短期入所施設	1箇所	
		保育園	1箇所	

昨年度までは、会員活動の一環として、一部の会員を対象として窪田ゼミを開催し、スーパービジョンを通して、学ぶことができましたが、窪田暁子先生が天に召されたことで終了となったため、新たな取り組みとして、会員及び卒業生に向けての企画を考えています。今後同窓会との連携を模索しながら、具体的に講演の企画を出し進めていく予定です。お楽しみに(担当: 蛸原・長尾)

事務局長 石井 須美子

===== !

新しく仲間が増えました

4月から事務局に来てくださっている葛生さんをご紹介します。

東京YWCAで30数年間勤務され、昨年退職された、経理のエキスパートです。

的確に仕事を進め、プライベートもゆったり楽しんでおられる魅力的な方です。



葛生 禎子さん 経理担当

葛生です(^ ^)♪ 4月から経理を担当しております。趣味は旅行です！よろしくお願いします。

♪ 敬心福祉会 特別養護老人ホーム「千歳敬心苑」に訪問、インタビューしてきました♪

東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター（以下HSSC）が継続して提供している講師派遣研修は、施設で働くみなさんや利用者のお役に立っているのでしょうか。2014年6月26日、社会福祉法人 敬心福祉会「千歳敬心苑」にお伺いしてきました。

職員の方々から、2011年度から続いている講師派遣研修について、率直なご意見・ご感想を聞かせていただきました。お忙しい中、お話ししてくださいました、遠藤施設長、職員の皆さま、本当にありがとうございました。



インタビューに答えてくださった
遠藤施設長（前列）と職員の皆さん

～ 職員の皆様へのインタビュー ～

①受講して良かった点、これまでの研修との違いはありますか。

Sさん 研修の期間は長く、1年間でした。前半は主に講義、後半は事例検討でした。特に、後半の事例検討が非常に有意義でした。自分でテーマを決めて課題を克服するというものですが、課題を克服することより大切なことがあること、課題の解決の過程に意味があることに気づきました。課題を解決してゆく過程においてメソッド、姿勢を教わりました。目先の業務をまわすことだけではなく、大切なものがほかにあると気づき、自分の取り組みの姿勢が変化していきました。

Kさん 研修の後半、自分で課題を設け、取り組んでゆくと、仕事の中で研修メンバーの着眼点に差があることがわかりました。話し合いにより、メンバーの考えの深さ、広がりや違うことがわかり、話を聞くのも楽しかったです。自分で課題を決める過程は大変でしたが、それに意味があって、仕事に対して深く考える意義付けができました。答えの多様性を講師がいっしょに導き出してください、講師の投げかけにより、自分と違う別の視点からの答えのを見つけ方を学ぶことができました。

Oさん いろいろな人の意見を聞いて、自分の視野が広がりました。

今まで受けた研修では、自分のためになっていても、学んだことを職場に発信することはありませんでした。この研修では自分から発信して動くことを学んで、職場で学んだことを伝えることができました。

*** 「自分の変化」を伝えてくださった職員さんにお会いして、心強く感じました。また、「自己の気づき」、「自分たちへの気づき」から変化が始まる・・・HSSCの研修の目指すところを確実に吸収しておられてとてもうれしくなりました。

②自分や職場に変化はありましたか。研修の成果は活かされていますか。

Sさん 研修に対する意識の変化が出てきました。「自分から発信する」ことを体験できてよかったと思います。この事例検討の研修は皆受けたほうが良いと思います。この研修を皆受けたら職場が変化していくのではないのでしょうか？

Kさん こういうやりかたでやっていくと仕事が円滑に進む、というやり方を学びました。

Oさん 研修の取組みの中で、「アンケートを取りフロアに戻す」ことを体験しました。職場の意見を取り入れ

るようになったし、聞いてもらえることも増えました。入居者に対する個別ケアが増えて来ました。職員が自分の業務だけではなく、周りを見る目が少しずつ増えて来たように思います。

Sさん 正直に言って、事例検討がダイレクトに入居者の方に活かされているかどうかは、まだわかりません。しかし、事例検討する過程で得たものとして、疑問点や、改善したほうが良いことに対して進める手

順や、いかにみんなに協力してもらえ環境をつくるか、は職場で活かせると思います。

Kさん 課題に取り組んだ時には問題点をクリアしましたが継続していません。これから振り返り、継続していききたいです。

Oさん 研修時当初は課題に対する結果は良かったのですが、また下がってきました。学んだスキルを活かして、繰り返し実施してゆくべきものかと思います。

*** 研修と研修課題について、前向きに具体的に取組まれた姿勢が、職場の中で気づいたことの解決方法がわかったと言える自信につながっているのだと思いました。職場内での取組みについての「方法」を知り、取組を「実施する」ことが、中堅・施設の核となる職員さんたちの力となり、ふさわしい研修であることを改めて確認させられました。

③これからの研修に希望すること、要望などをお聞かせください。

Kさん 実践に近い形で、実際に困っている内容をもとに話を進めてほしかったです。現場経験のある講師の話

は参考になることが多いですね。

Oさん テキストを読んでおしまいという講義もありましたが、それはもったいないと思いました。

Kさん 同じ講師に来ていただいた研修は継続した流れがあって、参加がしやすかったです。

事前に資料をいただくと、研修の前に読むことができます。研修をより有意義なものにしたいです。

Oさん ディスカッション式の研修がおもしろかったです。講師からの別の視点からみた助言があるといいと思

います。

*** 講義やディスカッションが、HSSCの研修の原点、「考え、実践する真の力をつける」ための時間となるように講師の工夫の大切さを教えられました。これからもお役にたてるように、共に学ぶ姿勢を持ちながら、職員のみなさんの力になれる研修を考えてゆきたいと思います。講師もドキドキしながら腕を磨かなくてはなりません。率直なご感想いただきありがたかったです。みなさんが理念を中心として、果たすべき役割を果たせるように、これからも話し合いながら研修を組んでまいります。

～ 遠藤施設長へのインタビュー ～とても快活で、職員を信じ、職員と一緒に考えておられる印象でした

①研修でどんな効果がありましたか

東京YWCA HSSCとは、打ち合わせをしっかりと実施し、カリキュラムを作成していただきました。成果はそれぞれ出てきて、「職員は、環境を与えれば伸びる」ということがわかりました。自分の情報を発信し、人からも得ている。そこから知識も増え、活用のしかたも上手になっている。メンバーシップも高まっています。それぞれのフロアで、研修に参加していない職員にも伝え、研修を活用していたと思います。研修を受けた職員がその後役職もつき、活躍する場もできてきました。そこで職員の個性が見えてきました。期待するメンバーが期待に応えてくれてうれしかったです。

YWCAの研修は講師が施設に来くれるのでありがたいです。受講生の人数を出せるし、一度に同じタイミングで同じ教育がされるというのは良いと思います。

(そして話ははずみ、講師の先生方のお話になり・・・) 派遣される講師の話がリアルで、現場では話しづらい話もしてもらえて、感じるものがある。励まされる。人間性の豊かさ、寛大な言葉に重みがあって心に響く、自分たちの仕事がいい仕事なんだと思える瞬間がある。など、施設長、職員の皆さんからも講師についての感想をいただきました。

②今後の研修に対する期待をお聞かせください。

一日の研修の中で、講師が職員とコミュニケーションを取ってもらえる時間があると、職員にとって安心であ

り、得るものがあると感じています。人間性のある一言が重いです。講師の方々の人間性を出していただけると、職員は感化されます。リアルで言葉以上に響くことがあると思います。

研修は、どんなものでも何か一つでも持って帰れるものがあるとよいと思っています。YWCAの研修は複数人数が一度に受けられるので、研修の場で、情報共有ができます。「これどういう意味なの?」「どう思った?」と言いたいことができるのがこの研修に期待するところです。それがコミュニケーションのきっかけになったりして、お互いに分かり合えたりできます。同じ頂上を目指す時、同じ頂上かどうか確認も出来ます。ケアをどこに定めればいいのか、自分がどこに芯をおけばいいのかというところに考えが治まると思います。

この研修の最初の目的は理念の共有でした。理念に立ち返らないとケアはできないと気付いてほしいと思っています。一人ひとりの力をどう上げていくか、そこが研修に期待するところです。

*** 講師については、お褒めの言葉もいただき、大きなプレッシャーを感じますが、これからも講師の質を豊かにしてゆけるようにしたいと思います。また、千歳敬心苑の理念を実践できるようにとの遠藤施設長の思いが職員さんたちに届くように、これからも一緒にさせていただきます。

「千歳敬心苑」理念がケアに繋がる研修 基本理念

「他人を敬い自らを律し、人々の心をもっとも大切にする」であり、人間尊重の観点から
「一人ひとりが輝いて生きていける社会を創造する」

特別養護老人ホーム千歳敬心苑 TEL. 03-3307-1165 <http://www.keisinen.or.jp/chitose>

(取材 蛸原・大庭)

会員交流広場



サロン ド わいわい
Salon de YY

会員同志の相互交流のコーナーです。同窓会の告知、サークル活動の紹介、悩み事相談など皆さんからのお便りをお待ちしています。

今回の「サロン ド わいわい」はここ、東京YWCA会館 216号室からお届けします。
最近の御茶ノ水のおすすめのお店について、わいわいおしゃべりしました。近ごろ御茶ノ水
に行っていないなあ、っていう会員の皆さま、216号室にお越しください。耳より情報ございます。



O: 今日のランチはKさんおすすめの「カフェ&キッチンf」に行ってきました。

国産和牛100%塩メンチカツがおいしかったわあ。ここはディナーもお酒もおいしそうですね、Kさん。

K: そうよ。他にもお酒がおいしいお店はいくつかあるけど、私の好きな「十三や」はこだわりの焼鳥屋さんで、

店主が全部仕込みをして備長炭で焼いているのよ。

I: さすが御茶ノ水通勤歴30年のKさんね! 近々ぜひ行きましょう。

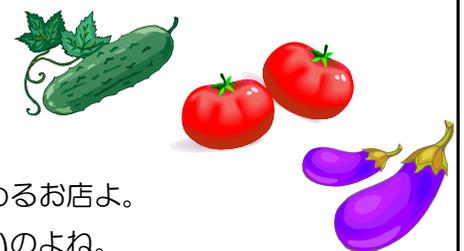
O: 飲めない私におすすめのお店を教えて!

K: では「古瀬戸珈琲店」はいかが?

簡単なランチやケーキがあり、ステキなカップでコーヒーがゆっくり飲めるお店よ。

H: ランチには「佐助」のにぎり定食がおいしいよ。ちらしも丼もネタがいいのよね。

N: 216号室でおしゃべりしながら食べるにはお弁当が便利ね。「ワーカーズフェアビテン」の「母さん弁当」は産地にこだわった材料で手作りしてあって、安心して食べられるね。



Cafe&Kitchen f'

東京都千代田区神田小川町 2-8 HF ビル 1F

03-5281-6561

古瀬戸珈琲店

東京都千代田区神田小川町 3-10 江本ビル 2F

03-3233-0673

鮎処 佐助

東京都千代田区神田小川町 2-8-0052

三井住友海上小川町ビル 1F

03-3295-9077

ワーカーズ フェアビンデン

東京都千代田区神田駿河台 3-5

03-3292-5077

十三や

東京都千代田区神田小川町 2-4

芙蓉ビル 1F

03-3296-0138

Information 会員の輪を広げて支えて下さい！

介護福祉士実習指導者講習会のお知らせ

受け付け開始しました。開催は2015年1月21日、31日、2月4日、14日の4日間
場所は駒込駅東口徒歩2分の愛恵ビル3階Bです。費用は25,000円。詳細はホームページ。

東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター会員のご案内

～会員になって、東京YWCAヒューマンサービスセンターを支えてください～

2014年7月31日現在 94名（正会員76名、賛助会員13名、団体会員5団体）

いつもご支援ありがとうございます。税制優遇の為に正会員100名、賛助会員20名、団体会員10名を目標としています。よりいっそうのご協力をお願いいたします。入会お申込みは事務局まで。

ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。（2013年11月～2014年7月現在）

窪田暁子・新田和子・川副栄子・大井妙子4名。誠に勝手ながら、敬称と金額は省略させていただいております。

会費振込みをお願いいたします。

年会費

正会員 3,000円/年

賛助会員 一口 10,000円/年 団体会員 一口 20,000円/年

会費振込先

（ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります）

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号10170 番号80995501

※ゆうちょ銀行の口座からお振込みの場合、手数料無料となります。

◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

会費振込先2箇所とも口座名義は共通です

口座名義

特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

代表理事 遠藤久江

会費の納入は
年内のうちに
お願いします



編集人のつぶやき♡編集人バトンタッチになりました。会報の土台をつくってくださった前任者様、本当にありがとうございました。HSSCも、理念を持ち自立できる組織へと自覚の年でなければならぬとドキドキのスタートです。引き続き応援ください！応援を伝えてくださるとさらに心強いです。よろしくお願ひし
+++

2014年8月14日～8月20日まで夏季休暇をいただきます。
急用の方は、NPO携帯電話までご連絡ください ☎070-5586-8957

編集人

蛸原まゆみ・仲眞葉・大庭幸

